

令和6年度地域活動応援事業補助対象団体選定一覧表

保健・医療・福祉

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
一般社団法人豊岡アートアクション	豊岡市	「認知症コミュニケーション×演劇」展開事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の増加が大きな社会問題となっている中、医療・介護の現場では試行錯誤が続いているが有効な対応策が得られていない。演劇的手法による認知症への対応が成果を上げており、演劇に強みを持ち始めた豊岡・但馬での認知症対策を前進させる。 ・豊岡では2017年度より演劇をコミュニケーション能力向上に役立てる取組が行われており、本事業ではアルツハイマー型認知症初期の方とその家族を対象に、認知症が「コミュニケーションの問題」という認識を広げるワークショップを行い、直感的体感的理解を促進させると同時に小冊子による知識理解を促し普及を図る。 ・9月に作成した小冊子を配布し、10/20に「じばさん但馬」において約100名参加の講演会・ワークショップを開催する。 	230,000
高柳地区自治協議会	養父市	たかやなぎ食育フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、食生活をはじめとするライフスタイルの変化、食の安全に対する不安、生活習慣病や肥満等健康問題が増加する中、食育に関心がない人が多いため、地域ぐるみで参加者が楽しめるイベントを企画し、食育に関心が低い層にも興味関心の芽生えを持ってもらうイベントを実施する。 ・6/9に高柳小学校において、約1,000名参加のイベントを開催する。食育月間である6月に合わせて、高柳の地場産を主に、食に対する理解や関心を深める展示、試食、体験、健康チェック、販売、ステージイベント、食育クイズラリー等を実施。 	57,000

小計 287,000

まちづくり

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
有子山城築城450周年事業実行委員会	豊岡市	有子山城築城450周年記念eスポーツ大会	<ul style="list-style-type: none"> ・出石地域には歴史的な資産が多く残されているが、歴史を学べる啓発事業や体験活動が十分に行われていない状況である。そのため、若い世代がPCゲームの世界から戦国時代に興味を持つことが多いことを活かして、個人対戦型のゲームソフト(例: Nintendo Switch 戦国無双)を使用したイベントを行う。 ・8月に有子永楽館において、50名参加の「有子山城築城450周年記念eスポーツ大会」を開催する。 	268,000
山田区	豊岡市	未来の地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化により農地や山の保全管理ができなくなっているため、都会の学校教育と連携しつつ地域住民や若者と活動を共にすることで、人材育成しながら環境保全や地域づくりを促進する機会をつくる。 ・8/24,25に山田地域周辺において、約20名参加の交流会及び刈払機取扱作業安全衛生教育を開催する。 	236,000
豊岡市商工会青年部出石支部	豊岡市	第2回出石夏祭り～出石町商工会青年部創立55周年記念事業～	<ul style="list-style-type: none"> 社会的人口減少はもちろん、地元の高校に通う生徒の減少により、生徒が出石の大人たちと関わる機会や若者回復率が減少し、各所で人手不足が顕著になっている。そのため、次代を担う子供たちに歴史や文化、故郷への愛情や誇りを伝え、地元に残って起業する選択肢をつくれる取組を行う。また、大人も共通の課題認識をし、団体や地域という枠を超えた繋がりを生むことでまちづくりに取り組む風土を醸成していける取組を行う。 ・8/24に出石町内町各会場(大手前駐車場、家老屋敷前広場、谷山川及び登城橋周辺)において、約3,000名参加の「第2回出石夏祭り」を開催する。 	221,000
たじまコミュニティガーデンネット	養父市	たじまコミュニティガーデン講座	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域は、県下でも花緑活動が活発な地域として知られているが、人材の固定化により長年にわたる活動の途絶が懸念されている状況にある。そのため、これまでの活動の継承はもとより、地域に根差した新たな活動の情勢を図るべく、子育て世代を中心に老若男女を問わず植物や土に親しむ機会をつくる。 ・9～12月にかけて、生野公民館、YBファブなどにおいて、約20名参加のコミュニティガーデン講座(例:種まき、差し穂、たねダンゴ、寄せ植え実習など)を6回開催する。 	64,000
にはんご広場ハピタン	新温泉町	新温泉町多文化共生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町には、現在160名以上の外国人住民が暮らしているが、職場と寮の往復であり地域のこと知らず、地域住民との交流も少ない。一方、外国人の労働力は必要不可欠であると考えながらも、彼らも同じ地域で暮らす仲間であるという意識が薄いことが大きな課題であるため、地域で大切にされている体験活動と一緒に、文化の相互理解や交流により同じ地域で暮らす仲間としての意識を育む。 ・ボランティアと外国人住民との交流は深まる一方、一般の地域住民と外国人住民の交流が生まれなため、地域住民と外国人住民が交流できる場をつくる。 ・6～10月にかけて新温泉町内の公民館において、15名参加のホテル観賞&飯盒炊爨、藍染め体験、ちりめん人形作り、芋掘りイベントを開催する。 	95,000

兵庫県立豊岡総合高等学校	豊岡市	おしごと座談会～豊総で話そう～	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後、但馬地域での就職を選択する生徒が少なく、進学で都会に出た後そのまま都会で就職する人数が多いことから、但馬地域の人口流出が激しくなり働き手が不足している。そのため、高校の早い段階で豊岡市で働いている事業者の方と対話することで就業観を身につけるとともに、地域で働くことの意味や魅力を知り、帰属意識を養うことや進路の選択肢の一つとして地元就職を考える生徒の増加を目標とする。 12/13に豊岡総合高等学校第1体育館において、約20名の講師による「おしごと座談会」を開催する。 	65,000
--------------	-----	-----------------	---	--------

小計 949,000

文化・芸術・スポーツ

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
TOYOOKA CENTRAL PARK実行委員会	豊岡市	TOYOOKA CENTRAL PARK	<ul style="list-style-type: none"> 若者世代の人口転出が多く、公共サービスも縮小しており、豊岡市で開催されていた「菓子祭り(前日祭)」も昨年度で終了するなど、これまで築いてきた文化が人口減少と共になくなることを避けるため、菓子祭り(前日祭)をできる限り再現し持続可能な範囲で残していけるようなイベントを実施。 10/13に豊岡中央公園にて、豊岡・但馬を中心としてお菓子を販売する事業者が出店する「豊岡スイーツフェスティバル」を開催。 	282,000
但馬ダンスフェス実行委員会	朝来市	但馬ダンスフェス	<ul style="list-style-type: none"> 但馬では幅広いジャンルやレベルを歓迎するダンスの交流イベントがなく、但馬のダンス界の全体的な発展が進んでいない。特に「ストリートダンス」に関してはトッププレイヤーに触れ合える機会は皆無である。 「音楽と踊り」をキーワードに世代・地域・ジャンルを超えて人々が交流し、世界トップレベルのダンスパフォーマンスを体験し、作品創りにより世界とつながる機会を提供し、但馬の人々の「心と体を元気にする」という目標を達成する。 7/20,21(予備日12月初旬)に朝来市内のホールにおいて、50～100名参加の創作型「音楽と踊り」を軸とした多世代・多文化交流ダンスイベントを開催する。 	300,000
豊岡ミュージックフェスタ実行委員会	豊岡市	豊岡MUSIC FESTA 2024	<ul style="list-style-type: none"> 但馬にはジャズをはじめ現代音楽に触れる機会や本格的なプロの演奏を聴く機会が少なく、プロアマ問わずミュージシャン同士や市民と交流する場がない。そのため、ジャズの演奏を中心に、ゴスペルコーラス、バンド演奏、吹奏楽など様々な音楽コンサートを行い、音楽と共に地域の人々が交流する場や地域をリードする音楽家育成のきっかけを提供する。 8/4に豊岡市民プラザほっとステージにおいて、約200名参加の「豊岡MUSIC FESTA 2024」を開催する。 	230,000
NPO法人但馬アーツコモンズ	豊岡市	芸術によるまちづくりの推進を図る事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が芸術に触れる機会が増え、過疎化・少子化に伴う経済停滞に対して観光需要への応答が重要視され、インターローカルに直接対等に渡り合える魅力が求められている。芸術文化と但馬地域をつなぐ新たなプラットフォームを創造・維持するため、芸術文化団体と協力し、公演や発表、発信や地域活動の機会の提供などとともに、活動を活性化する場や事業を管理・運営・協力・支援し、誰でも気軽に芸術文化をみれる・つくれる・かかわれる環境を作る。 9月に江原駅東口周辺において、約500名参加のサードプレイスをプレオープン、また、シェアハウス江原101において、約1,500名参加の「豊岡演劇祭2024連携プログラム」を開催する。 10～2月にシェアハウス江原101や芸術文化専門職大学等において、約10～50名参加のゲストトーク、学生公演感想シェア会、豊岡市演劇人交流会企画会議を開催する。 	276,000
千谷麒麟獅子舞保存会	新温泉町	日本遺産 但馬麒麟獅子舞フェスタin山陰海岸ジオパーク浜坂の郷2024	<ul style="list-style-type: none"> 地域の誇りと宝である但馬各地域の麒麟獅子舞等を道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷」に展示し、その魅力を広く発信する機会をつくる。 子どもをはじめとする多世代約500名が来場し、文化芸術に触れる機会とするため、9/23に「日本遺産 但馬麒麟獅子舞フェスタin山陰海岸ジオパーク浜坂の郷2024」と称し、3～4団体の麒麟獅子舞、和歌山の藤白の獅子舞、歌長太神楽等を披露するとともに、体験会を実施する。 	213,000
一般社団法人INCREW	豊岡市	障がいがあってもなくても、やりたいことをやってみよう!	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化に伴い障がいのある人や高齢の要介護者が年々増えているが、若い支援者は減っている現状がある。そのような中でも、障がいのある人や高齢者、支援者の誰もが、自分のやりたいことにチャレンジ・提案できる環境作りが必要であるため、障がいのあるなし、介護の要不要に関係なく、誰もが楽しめるアウトドアアクティビティを提供する。また、福祉と観光とアウトドアアクティビティをつなぐ人材を育て、いずれは多言語・多宗教・多国籍等にも対応できるようなインバウンドも見据えた人材と活動を展開する。 7/13,14に竹野浜海水浴場において、「海で遊ぼう」夏の体験会、1/25及び2/1,2にアツカんなべにおいて、「雪で遊ぼう」冬の体験会を開催する。 	256,000

イサカライティング	豊岡市	イサカライティング地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡市をはじめ但馬地域には多くの自然があふれている一方、若年層が進学とともに都市圏にでてしまう問題があるが、芸術文化観光専門職大学の設立などもあり、地域への若者参画が始まろうとしている。しかし大学生と地域住民をつなぐ活動は発展途上であり、学生と但馬地域を培ってきた人たちが交流する場所や機会をつくり、継続して後押しをしていく必要があるため、幅広い層に文化・芸術に触れる機会を設け、一つの分野に限らない複合的な企画をし、交流できる場をつくる。 自然豊かな環境の中での文化事業として、秋の紅葉の美しいシーズンである11/9に養父市おおやホールにおいて、落語会を開催。 2/15に新たに運営を開始する「アートスペース豊岡ミリオン座(仮称)」において、落語と演劇、さらに地域参加によるイベントを開催する。 	218,000
但馬旅人生活拠点。	豊岡市	「但馬に演劇を届ける2024 たじたび★但馬ツアー」	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡では豊岡演劇祭や城崎国際アートセンターをはじめ活発な演劇活動が行われ、但馬地域外にも影響を与えている一方、但馬地域の小中学生は地理的困難により劇場に足を運べない状況がある。そのため、地域のコミュニティセンター等に赴いて公演を行うことで地域住民が身近に芸術文化に触れられ、日常の傍らに演劇が存在する街の実現を目指す。 企画会議を経て10月より各地区コミュニティセンター(但馬管内5市町及び豊岡市内6市町の11会場)において、各公演約5~10名参加のツアー公演を開催する。 また、1月には豊岡市民プラザにおいて、約250名参加の成果公演を開催する。 	273,000
但馬ヒストリア	豊岡市	但馬創作曲『天日槍命物語』(仮称)音楽で紡ぐ歴史	<ul style="list-style-type: none"> 日本神話や古事記等に登場する神様たちは円山川沿いにある但馬五社で祀られており、日本創世に大きく関わる神様を祀っているにもかかわらず、その古代史はほとんど知られていないため、豊かな地域資源としての題材を活かす場を設ける。 但馬の豊かさ・歴史・神話をテーマにした楽曲を制作し、多くの方に奏でてもらい、奏者は曲に込められた歴史や物語等その想いを知ることができ、聴く人々へも伝播させ、感動を生み出すことを目指す。 8/18に豊岡市民会館文化ホールにおいて、約100名参加の合同練習会を開催し但馬創作曲などを披露する。また、但馬文教府において、約100名参加の四戸俊成監督講演会を開催する(時期は調整中)。 	239,000

小計 2,287,000

環境の保全

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
椿色区	養父市	小佐地区自然環境改善プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化の進行や他市では派遣のある「地域おこし協力隊」も小佐地区にはないため、農業や林業をはじめたいという人材募集をするための土台作りを行う。具体的には、山の手入れを行い清流に住む魚類(やまめ・いわな等)や水生昆虫(ホタル等)を増やす取組や有機農業を拡大させる取組を行う。 7/14に椿色公会堂及び10/6に旧小佐小学校において自伐型林業による山林管理についての考えを広める会を開催する。 8/14に椿色公会堂周辺においてヤマメに触れるなど河川の自然環境について考える学習会を開催する。 ※日程は小佐地区自治協議会との調整を行うため前後する可能性あり。 	169,000
キャリアコネク	豊岡市	高校生が製作「環境アクション」ボードゲーム体験学習会	<ul style="list-style-type: none"> 社会において環境に対する問題意識は毎年高まっているが、具体的に実行できていないことや各地域で多世代交流が行われているものの、高校生が主体的に関わっている行事がほとんどないため、具体的な環境のための数々の行動や発想が広がるよう、地域の高校生が企画・運営する場を設ける。高校生にとってはプロジェクトに対する現実的な体験や学びとなり、参加者にとっても多世代が同じテーマで楽しく声を出し合うことで目指すべき交流となることにつながる。 5/25に豊岡地区コミュニティ内ホールにおいて、約40名参加のボードゲームの体験会を開催する。更なる学びになる動画やフリップを使い最初と最後に深い学びの時間を持つ。 	67,000

小計 236,000

子どもの健全育成

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
ブンダバー	新温泉町	たじま自然探検隊	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬には豊かな自然と多様な生態系があり自然環境に恵まれた地域であるが、安全意識の高まりやゲーム、SNSの普及により身近であるはずの自然に子どもたちの足が向かないという現状がある。そのため、多様な自然体験活動の場を提供することにより、未来の但馬の環境保全や生物多様性の保全活動を担う子どもたちを育てる。 ・一年を通して但馬の環境問題を題材にしたイベントや生態系を活かした体験など様々な事業を実施する。 ・6月メダカを使った遺伝子攪乱啓発イベント、7月海や虫の生き物調査、8月川の生き物調査、9月ハゼ釣り、10月増え続ける竹や鹿問題を題材にしたクッキング、12月ミツガシワを題材にしたリース作り、1月スノーシューハイキングを行う。 	300,000

小計 300,000

団体活性化

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
たじまート	豊岡市	たじまート	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域では公共交通機関の利便性が乏しいことから飲食店や商店の集客が難しい傾向にあり、SNSなどの媒体を利用した集客が必要になるが、その媒体を持たない事業者が多くある。 ・また、芸術文化専門職大学生が学んだ演劇や企画されたアイデアが資金不足により発揮できる場を持っていないことから、足を運びやすく認知度が高い豊岡市内の中央公園(SL公園)で屋外マーケットを実施し、集客する機会や地域住民と対面でつながる機会、学生が企画したものを発揮できる場をつくる。 ・7/20,9/28に中央公園において、約100名参加の「たじまート」(個人によるフリーマーケットや事業者による屋外マーケット、体験型の演劇)を開催する。 	195,000
BBAの会	養父市	子育て世代の支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての苦勞を語り合える場所がなく悩みをかかえる人や子育てに必死で健康管理がおろそかになりがちな人のため、産後の母のストレス発散や健康増進、父や夫婦での参加による子育ての楽しみや課題を分かち合う場となることを目的とした事業を実施する。 ・5～2月にかけて、YBフェアリーホールサル室、八鹿温泉プールなどにおいて、子供もお父さんもお母さんも楽しめるイベントを開催(例:ダンス、ボクササイズ、水泳等、10～20名参加×約30回)する。 	65,000

小計 260,000

その他

団体名	団体所在地	事業の名称	事業内容	補助予定額
和田山地区地域自治協議会	朝来市	クリスマス・プレイベント「光のつどい」開催事業	<ul style="list-style-type: none"> ・朝来市において人口減少や少子高齢化、コミュニティの希薄化により地域の活力低下に拍車をかける事態となっている。地域住民やその家族が住み続けたい、帰ってきたいと思える地域づくりを行うため、これまで12月～1月に行ってきた恒例のペットボトルツリーのイルミネーション事業に合わせて住民が一堂に介せる場としてパフォーマンス鑑賞や飲食などができるイベントを行う。 ・12/7に朝来市防災センターにおいて、約300名参加のクリスマス・プレイベント「光のつどい」を開催 	181,000

小計 181,000

※各種事情により、事業中止や開催時期等が変更になる場合があります。

【補助団体】 23団体 4,500,000